

## 横浜市方式での天空率チェック方法

### 取扱7 道路が一でその幅員が異なる場合（ケース2）

下図のような、道路が一で幅員が異なるような場合、  
T P - P L A N N E Rで必要な処理は、

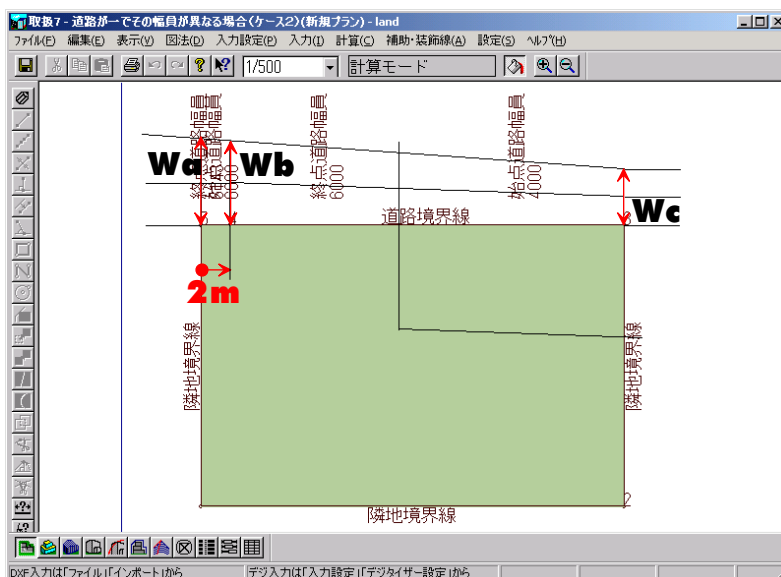
○天空率算定領域での、『自  
動発生方式詳細』の設  
定を変更

の1点です。

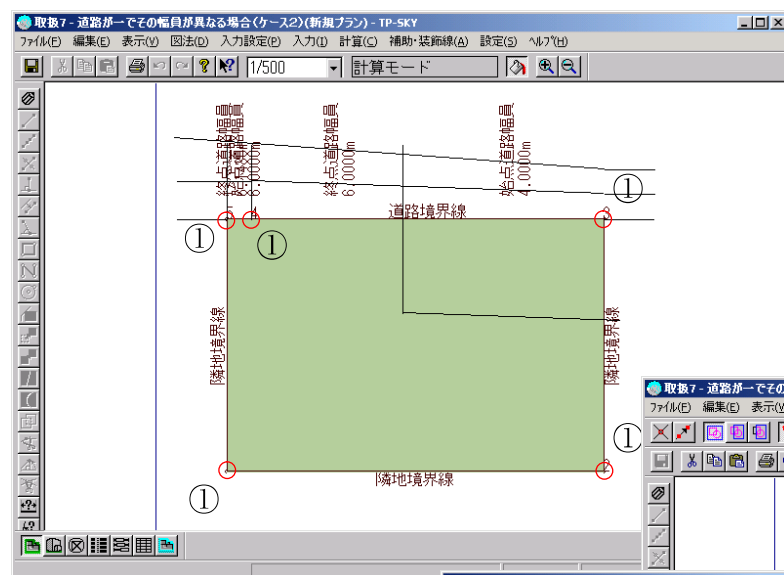
このケースのポイントは道路幅員の  
入力にあります。

では、実際にどのよう  
に入力・設定を行なうの  
か、を説明します。

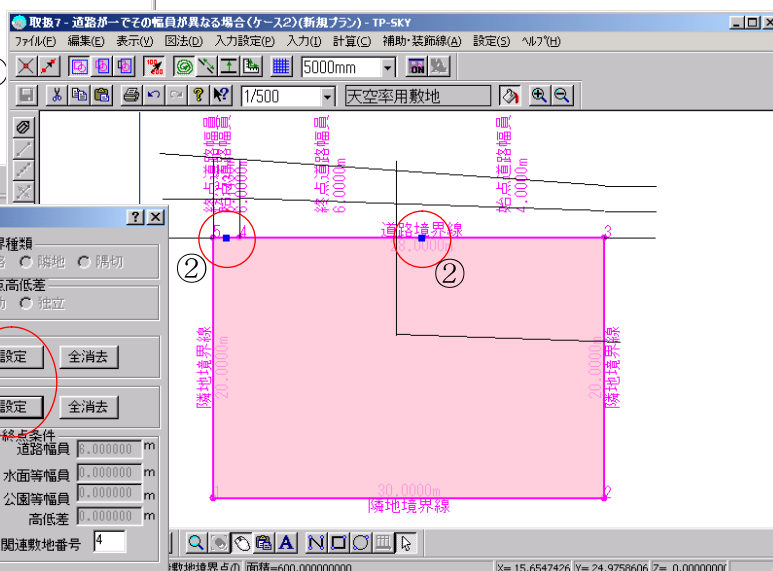
以下の処理は、すべて  
T P - S K Yで行います。  
あらかじめ、真北、敷地、  
用途地域、建物などをT  
P - L A N Dで入力して  
おいてください。



Wa、Wb、Wcはそれぞれ敷地境界線に対しての垂直方  
向の距離を求めておきます。



① T P - L A N Dで敷地を入力  
する際に、道路の広い側から2  
m部分で境界点を作っておき  
ます。



② 天空率用敷地を貼り付け  
道路境界線に同一区間設定  
と外壁後退同一設定を行いま  
す。





⑤通常どおり天空率の計算を行います。

以下に計算結果を示します。

